



# JR 東日本八王子駅パンフ配布処分事件 審問・報告集会 開催！

5月31日、「八王子駅パンフ配布処分事件」の東京都労働委員会「審問」が行われました。申立人からは組合員が証言に立ち、今回の配布は「勤務時間外かつ業務に支障をきたしていない」ことを正々堂々と証言しました。申立人の審問の中で今回のパンフレット配布処分について会社は「国鉄時代の反省に踏まえ職場の規律を正すため」「一つの組合を特別扱いできない」「些細な組合に関する会話も組合活動」と主張をしています。改めて就業規則のみで処分を出し、組合活動の規制・排除・萎縮が目指されている不当労働行為であることが明らかになりました。

翌6月1日、八王子労政会館において報告集会を開催しました。職場内で発生している様々な問題とたたかいについて報告をいただき、全体で共有しました。

- ◇会社からの不当労働行為やハラスメントが横行しているが、全組合員で前に出て自信を持って組織拡大をしていく！
- ◇面談で組合員が指導操縦者の指定や昇進試験に合格したければ「わかってるよね」と言われた。
- ◇退職者が多いのは経営体質の問題であると感じている。若手の悩みや、職場で発生している問題点を掴み解決を目指す。

次回は2022年9月5日（月）  
10時30分から調査が行われます。パンフ配布処分事件の勝利に向け、職場から連帯するたたかいを創り出していくことを確認しました。



健全で安心して働ける JR 東日本会社を取り戻す為に  
全ての仲間であたたかい抜こう！